

熊本女子剣道大会の盛会を慶ぶ

審判長 田原 弘徳(八代高校出身・東京在住)



【田原審判長】

第20回と云う歴史を刻んでの「熊本(小・中学生)一般女子剣道大会」が誠に盛大に挙行され、かつ盛會裏に終了する事が出来、熊本女子剣道愛好会の御下会長ほか会員の皆さんにお祝いとお慶びを申し上げます。

小学校1年から一般女子、673名の女子剣士(選手)に合わせ監督、コーチ、付き添い等、また審判員、役員全てを合わせ2,000名をゆうに超えた「菊池市総合体育館」。大会の主催



【各学年の優勝者】

出場で東京に於いて高校の教師を勤められ、併せて、永年にわたり「高体連剣道部長」として高体連は勿論、剣道の理念の原案作成に当たられる等、日本剣道界の発展に心血を注がれた先生です。昭和38年の秋、「高校総体に女子の剣道が正式に認められた」と大変な喜びを語られました。



【一般女子優勝・阿蘇高OB】

九学7連覇・阿蘇4連覇、共に全国出場!

=第39回県高校総体剣道競技大会を振り返って= 高体連剣道部専門委員長 佐藤良一

本年度は東日本大震災で全国選抜大会が中止となり、全国九州大会のキツプを掛けた3年生にとつては最後の県内大会となりました。

6月3・5日の3日間、菊池市総合体育館で男子団体(48チーム)、女子団体(31チーム)、男子個人(10名)、女子個人(83名)の参加でそれぞれ熱い戦いが展開されました。初日の男子個人戦は、九州選抜大会優勝の阪口(鎮西)と新人戦個人ベスト4の桑野(東海第二)の決勝戦となり、桑野が見事な面



【個人優勝者の声】 東海第二高 桑野俊彦

戦全勝で4連覇29回目の出場を決め、「夏の阿蘇」を印象付けた大会となった。全国大会・九州大会に出場される学校と選手の皆様、御健闘を祈ります。

今回の高校総体は、特別な思いで臨みました。私たちが3年生にとっては、菊池市総合体育館で高校生として試合をするのは最後になります。だからこそ自分の全てを出し切ることだけを考えて、無我夢中で試合が出来ました。

熊本の代表として全国大会に出場する限りは、上位を目指して頑張りたと思います。今まで応援してくださった皆様のおかげで、今の自分があると思います。本当にありがとうございます。



【二戦一戦に集中】 八代白百合高 松尾恵里

私にとって最後の高校総体で個人優勝することが出来、大変嬉しく思っています。一戦一戦、相手に集中し、自分の力を一杯出し切り、全力で試合をする心で頑張りました。

その結果が優勝という形を残すことが出来たと思っております。しかし、この優勝は私一人の力では到底なしうるものではなく、先生やコーチ、支えてくださった保護者や周りの方々、そして今まで苦しい時、辛い時も一緒に乗り越えてきた仲間のおかげだと深く感謝しています。そしてこの感謝の気持ちを大切にしながら、これからまた九州大会、玉龍旗大会、インターハイで良い結果を残すことが出来るよう練習に励み、高校剣道の締めくくりとして自分が納得のいく、悔いの残らない試合ができるよう精一杯頑張りま

人の力では到底なしうるものではなく、先生やコーチ、支えてくださった保護者や周りの方々、そして今まで苦しい時、辛い時も一緒に乗り越えてきた仲間のおかげだと深く感謝しています。そしてこの感謝の気持ちを大切にしながら、これからまた九州大会、玉龍旗大会、インターハイで良い結果を残すことが出来るよう練習に励み、高校剣道の締めくくりとして自分が納得のいく、悔いの残らない試合ができるよう精一杯頑張りま

源武堂 武道具専門店 職人の技と心の生きる手づくりの店

熊本市大江本町1番32号 九州学院前電車通り
TEL (096)372-3666(代) FAX (096)372-3671

ホームページ: <http://www.genbudo.com/> Eメールアドレス: kumamoto@genbudo.com

天草営業所 TEL(0969) 23-5988 FAX(0969) 23-6524
人吉営業所 TEL・FAX(0966) 24-8417

「順道館Aと清水少年剣道会Aが優勝」

審判長 栗崎 敬一

第37回熊日学童オリンピック・第40回県下少年剣道錬成大会が平成23年7月17日(日)山鹿市総合体育館で開催されました。

さて、本大会は、熊日学童オリンピックのご協力により、15競技の中の1つとして開催されるようになり、今回が2回目の大会となりました。

出場チームも、昨年度より25チーム増えて、団体切り抜き戦に70チーム、低学年の部に62チームが出場し、熱戦が繰りひろげられました。

団体切り抜き戦は順道館Aと龍驤館Aで決勝を置かれていたことが伺えました。小学生の段階での竹刀操作や身体の動き等をしっかりと身につけることが、正しい剣道につながる、ひいては試合の勝敗にも影響してくると思われま



【低学年優勝・清水少年剣道会A】



美術に、特に彫刻へと力を注ぐことになりました。美術と剣道に共通することは、「瞬間で見切る」ということ

象を判断しています。また、制作に向かう場合は、その最初の段階で既に最終のイメージを持っていて、そのイメージに向かって制作を進めることでもあります。ただ、頭の中では完成しているのに、なかなかそのイメージに到達できない時もあります。途中で進路を変更する場合があります。私は写真彫刻家です。大自然における「人間の存在」をテーマに制作を続けています。これも剣道と似たところがあるような気がします。そこには何かしら「気配」という存在があるように思うのです。相手の気配(つくる対象としての、あるいは作品としての、

そして自分自身の気配、さらにその背景には大自然という気配が、大上段に構えましたが、まだまだ修行の身、さらには自身の彫刻の技を磨かねばなりません。

剣道家と大きく違うのは体力的な面でしょう。八十五歳になる父がまだ現役で剣道場に向かい、私より健康な様子です。私も時には体躯を動かし、気力、体力も

私は彫刻を専門とし、教育学部で美術の指導をしています。三年前までは中学校の教師でした。初任は小学校で小学生も六年間教えたことがありますが、小学生から大学生までのたくさんの子どもを見た教師という立場から思うことは、やはり早い時期における教育というものの重要性です。

十六年の剣歴となりますが、腕前は...とにかく大学二、三年の頃からは



阿蘇対八代白百合戦が事実上の決勝戦となり、個人戦で決勝を戦った松尾(八代白百合)と古田(阿蘇)の大將戦となり古田が延長戦で見事な小手を決めて勝利した。結局、阿蘇がリーグ3

最後に、本大会が熊日学童オリンピックのご協力を得て、今後ますます発展することを期待しております。



【カット:上野勝昭】